

2019年度事業計画

特定非営利活動法人 陣屋

1. 目標

- ・諸事業を支える主たる収益事業(福祉サービス)については、利用者、従事者ともに増やせるように努力する。
- ・福祉有償運送については、岡山市、赤磐市ともに、運転者各1名を確保できるようにする。
- ・2019年度年間を通じた事業として、赤磐市の協働事業に「住民主体の外出支援の仕組みづくり」を提案し採択された。市内3地域(未定)の住民の協力を得て、その3地域それぞれの生活交通をめぐる課題についてワークショップ形式で課題解決の方法を探り、地域助け合い型の移動・外出支援サービスに繋げていくことを目標とする。

2. 実施事業の詳細

* 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(単位千円)
非収益部門 あつたか地域づくり事業	I 興除公民館での子育て支援活動 陣屋設立当初のスタッフの居住地域の活動として定着 非会員の協力者、地域外の親子の参加もあり 興除公民館の大切な地域資源となっている	第2金曜日10:00～ 定例会 毎週火曜日午後	南区中畦589-1 興除公民館 スタッフ自宅	2名	子育てひろば 参加者(親子10組)	
	II まったり・息抜き事業 1. 以前からのつながりや、ちゃぶだい利用者・家族から不定期に、相談あるいはおしゃべりの電話が継続。スタッフ2名で対応。	随時	北区今2-17-27 陣屋事務所 赤磐市山陽3-7-42 赤磐事務所	2名	家族2名 障がい・ 高齢者計5名	
	2. サロン活動としての地域文庫「まちねこ文庫」	毎週(日)午後2時～4時	赤磐市山陽3-7-42 陣屋赤磐事務所	1名	山陽地区住民 不特定多数	
	3. Be・助っ人事業: 制度の隙間のニーズに対応する事業として、制度外で生活支援を行う。ちゃぶだい・福祉有償運送の利用者の希望時に、必要性を話し合った上で対応する。ガソリン代等実費徴収で原則無償。	随時	利用者宅または 外出先	4名	ちゃぶだい 利用者6名	
	III 研修・啓発事業 1. 陣屋 ①赤磐市市民活動実践モデル事業 「今求められている移動・外出支援サービス」 —ここに生きたい・そこに行きたい— ②岡山市、赤磐市の地域公共交通会議の傍聴	①2019年7、9、11月、 2020年2月 ②未定	①赤磐市内3地域 (未定) ②赤磐市役所	①陣屋 会員 ②未定	①② 赤磐市の 移動困難者 移動弱者 その予備群	

非 収 益 部 門	あ つ た か 地 域 づ く り	2. ちゃぶだい関係 ①内部研修「聞く力と対話力を高める学習」 ②外部研修「コーチング研修」「意思決定支援と権利擁護」	①2019年6月～2020年2月ヘルパー会議時 ②2019年9月、12月	①岡山市北区今2-17-27 陣屋事務所 ②岡山市中区桑野715-2 岡山ふれあいセンター	①4名 ②4名	①②ちゃぶだい利用者15名及び福祉有償運送利用者10名	
		3. 福祉有償運送関係 ①運転者講習会	2020年1月18、19日	岡山市南区片岡186 灘崎文化センター	2名	陣屋福祉有償運送利用登録者	
		4. 移動ネットおかやま ①赤磐市通所付き添いサポート事業 ②福祉移送ネットワーク講座	①②日程未定	①②場所未定			
収 益 部 門	①②③④ 訪生居移 問活宅動 介支介支 護援護事 業サ―業 ビス事業	①介護保険制度による国の事業としての身体介護、家事援助等。今年度個別指導の可能性大。	月曜日～土曜日 9時～17時	利用者宅	1名	1名	
		②自治体の地域生活支援事業:介護保険制度からはずれた軽度者(要支援認定者)の生活支援。①と同じく個別指導の可能性大。		利用者宅	3名	5名	
		③障害者総合支援法による国の事業としての身体介護、家事援助等。今年度新規利用3名を目指す。		利用者宅	3名	10名	
		④自治体の地域生活支援事業。受診、外出支援が主。		利用者自宅～ 外出先～自宅	2名	3名	
福 祉 有 償 運 送 事 業	楽箆(らっこ)運送:運転者3名に持ち込み車2台で岡山市の対象者に対応。新規の相談が頻回にあるが、ヘルパー兼務のため対応できていない。	月曜日～金曜日 9時～17時		3名	登録者52名		
	カメさん:運転者3名に公用車1台、持込み1台で赤磐市山陽地域の対象者を主にに対応。長年実績のある事業所が撤退したことにより、透析患者の方を主に問合せが増えている状況。近隣同一病院への透析患者の利用者の乗り合わせについて検討中。	月曜日～土曜日 9時～17時	利用者宅から 外出先の往復	3名	登録者20名		

